

「不易流行」

よき伝統を守りながら(不易)

進歩に目を閉ざさない(流行)によって、

「理想」を創造する

「福祉大会と東京出張」

11月はさまざまなイベントで町内にぎやかになる月でした。秋の奥大山うまいもん祭り、JAまつり、文化祭、新そば祭り、奥大山古道ウォーク、福祉大会、人権・同和教育研究会等々、町内外からたくさんの方が集まりました。参加された方は、その内容に満足されたことでしょう。私もほとんどのイベントに参加させていただきましたが、その中でひとつだけ紹介させていたいただきます。それは江府町福祉大会の講演です。講師の栗木剛さんのお話がとてもわかりやすく、聴講者との距離感も近かったことです。「ボランティア活動は他人のために気張ってするものではない。外に出かけて、人と話をするので、頭を使う。それが自分のための脳トレーニングになる。近所の人と声を掛け合い、言いやすい関係を作ることが、ふくし(普段の暮らしの幸せ)につながる。」参加されていた方はいいお話



▲『mottoひょうご』事務局長の栗木さんによる講演

を聞かれたと思います。ぜひ、今回参加できなかった方にも聞いていただく機会を作れたらと思います。11月は出張の多い月でもありました。東京で開催される各種大会に出席しました。特に大きいものは「全国町村長大会」です。紅白歌合戦の会場で有名なNHKホールで開催されました。安倍総理大臣の挨拶を直接聞いたのは初めてでした。会場は900人以上の町村長で埋め尽くされ、自分もその一員であると思うと、改めて身が引き締まる思いがしました。他にも、過疎、山村振興、国保制度、簡易水道、治水砂防等の各種大会や国への要望活動、県選出国会議員との懇談会等に出席しました。公務の合間に、東京在住の日野郡出身の皆さんの会合「金持会」に出席させていただきました。江府町の方も三名おられ、町の様子をお伝えしながら、意見交換もできました。つながりの大切さを再認識。江府町のファンクラブを作り、拡げられないかと思いました。

「3000人の楽しい町」 プロジェクトチーム報告

こんにちは。江府町役場で働き始めてから5年目になります、総務課の仲田裕紀です。普段は広報やひかり電話・インターネットの担当をしております。

突然ですが、みなさんは「せせらぎ公園」を利用されたことはありませんか？芝生の上でのグラウンドゴルフや「江尾十七夜ではアユのつかみどり」に参加したよーなんて人もいらっしゃると思います。なぜ今ここで「せせらぎ公園」の話題を出したのかというと、現在、せせらぎ公園の利用についてプロジェクトチームで話し合いをしているからです。

平成7年に町が整備したせせらぎ公園は一部芝生化やピオトープ化などを通して現在に至ります。最近ではグラウンドゴルフに汗を流される方やホタルの生息地として住民のみなさんに親しまれています。

そんな憩いの場として整備されたはずの公共の公園ですが、当初と比べて公園を利用される住民さんが年々減っているこ



▲江尾十七夜あゆつかみ時のせせらぎ公園

とや施設の老朽化で管理が行き届かないなどの課題も増えてきています。本来住民さんの生活のなかで心安らぐ場所であるはずの公園があまり利用されないままというのは少しもつたいないと思うこともあります。しかしながら、現状としては住民さんにとって利用しづらい状況があったり、近隣市町村の公園の方が遊びやすいなどの様々な理由があるのではと思っています。

今後せせらぎ公園の利用などについてアンケートを実施し、みなさんの公園としてどうあるべきなのか、また具体的に何が必要なのかを検討していきたいと思います。

(仲田裕紀)

動画で町報こうふ!



前回の報告会の様子は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。